



職人紹介 Shokunin File

皆から「おやっさん」の愛称で呼ばれるナルシマ棟梁の最年長。仕事中の厳しい表情から一息ついたときの柔らかい笑顔のギャップが人の心をつかむ、佐藤棟梁をご紹介します。

寡黙で真面目、凄腕ながらどこか親しさを感じる、そんな「大工さん」のイメージすべてがあてはまる、まさに大工オブ・ザ大工が佐藤棟梁です。山形県出身で父と兄、弟がすべて大工の家に育ち、この道既
に 55 年。今では息子の卓也さんもナルシマの棟梁を務めるとい
う、三世代続く生粋の職人です。鍛え上げた技術を高性能な家づくりに活
かすだけでなく、その腕前を家具づくりにも発揮するなど、変わらな
い向上心は皆の手本となっ
てきました。一方恒例の
「親子工作教室」では、
孫を見るような笑顔で手
助けをするなど優しい一
つになって 18 年。スタッフか
厚い、大黒柱です。



Shokunin File.02

Toshiaki
Sato

てきました。一方恒例の孫を見るような笑顔で手面も。ナルシマの棟梁と
らもお客様からも信頼の

棟梁

佐藤敏明

(69)



八坂神社様「上棟の儀」



佐藤棟梁と采女棟梁が担当した八坂神社様の神輿蔵と社務所は8月末に完成。地元のために頑張りました！



佐藤棟梁が手作りした「大工の手の椅子」が伊礼智賞を受賞。匠の技にお墨付きが与えられました